

# オンライン協働学習の 効果と課題

学生と日本人学生の共修に関する取り組みは、「グローバル人材」育成の高まりやアクティブ・ラーニングの推奨等を背景に、近年、増加傾向にあります。

また、大学をはじめとする教育機関におけるICTの整備により様々なツールの活用が可能になると同時に、その積極的活用も求められています。

本研修事業では、「オンライン協働学習」という教育の手法に注目し、多様な背景を持った学生を対象とした共修教育における効果・課題について、参加者のみなさんと一緒に考えます。

**日時: 2018年2月17日(土)12:00 受付開始**  
**場所: 北海道大学 国際連携機構**

\*\*\*\*\*

## 【スケジュール】

12:30 ~ 12:35 趣旨説明

12:35 ~ 13:15 実践報告①

菊池 誠治 (韓国・嶺南大学) 鄭 惠先 (北海道大学)

13:15 ~ 13:45 実践報告②

大塚 薫 (高知大学)

13:45 ~ 14:15 実践報告③

宮城 徹 (東京外国語大学)

14:15 ~ 14:30 休憩

14:30 ~ 15:30 全体ディスカッション

15:30 ~ 15:35 おわりの挨拶

\*\*\*\*\*

## 【問い合わせ】

北海道大学 国際連携機構 国際教育研究センター 青木麻衣子 [maoki@oia.hokudai.ac.jp](mailto:maoki@oia.hokudai.ac.jp)  
人数把握のため、参加を希望される方は、2月5日(月)までに青木までメールでご連絡ください。

